

令和2年度決算に対し討論

賛成



賛成討論
菅澤久 議員

適正な行政サービスを評価

「令和2年度各会計歳入歳出決算書」が町から9月議会に提出され、決算の認定について議案となりました。

議会では、決算審査特別委員会を設置し、監査委員の意見を踏まえ、慎重に審査を行い、すべての会計が認定すべきものと決定されました。

令和2年度決算を総体的に見ると、コロナ感染症の影響が色濃く反映された決算になりましたが、適正な事業の執行と行政サービスの質を落とさない、サービスの提供がなされたと認められました。

● 審査の概要

1 一般会計

歳入総額が約96億3千万円、歳出総額が約89億円となり、歳

議案第2号一般会計補正予算に対し討論

賛成



賛成討論
佐藤利治 議員

希望がちりばめられた予算

まずは、新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業でございませぬ。この予算の速やかでの確な執行により、医療現場の皆様と関係職員の皆様との連携がなされ、本町のワクチン接種体制がスピード感をもって確立されました。関係するすべての皆様に感謝申し上げますとともに、高く評価させていただきます。

長引くコロナ禍において、増大する各家庭での経済的負担を考慮し、さらなる子育て支援の充実を図るべく、医療費助成を拡大し、22歳までの学生を対象とする予算も盛り込まれました。これは千葉県内初の取り組みです。

これまでも、千葉県一と言える子育て支援策を推し進め、拡充してきた多古町ですが、さらなる進化を目指す所町長の意気込み、心意気が伝わってきます。町のPRを含めた少子化対策、移住促進はもちろん、将来的な町への波及効果は多大であると考えられます。

他にも、こども園保育室増築工事、南玉造線道路工事の前倒し等、時間と予算を無駄にしない創意工夫も見られます。町の未来への希望がちりばめられた補正予算を高く高く評価するとともに、これからの所町政にご期待申し上げ賛成討論とさせていただきます。

令和2年度決算に対し討論

賛成



賛成討論
飯田良一 議員

財政運営は健全

歳入では、成田国際空港周辺対策交付金が前年比約2.3倍となり、外交努力の結果ですと評価します。

歳出では、台風被害の教訓から災害に強い町づくりとして各庁舎、各施設に非常用電源設備の強化が図られました。

コロナウイルス感染症拡大で不安が増す中、各給付金事業が迅速に行われたことや、町民に寄り添ったアイデア溢れる多数の事業が行われ、不安の軽減に資しております。

学校教育ではタブレット端末整備が行われ、本年度より運用されており、また学校運営では長期休校期間において、電話での児童・生徒へのフォローや再

開後には感染症対策がなされ、通常授業を行うだけでなく各行事を工夫のもと開催したことは、教育が守られたと捉え評価します。

中央病院事業会計では、医療従事者の御奮闘はもとより、コロナウイルス感染症に対応するための努力もあり、黒字決算となりました。

水道事業会計では、効果的な修繕によって有収率が向上しております。

健全化比率及び資金不足比率は各基準以下で財政運営は健全です。

以上、令和2年度一般会計、5特別会計、2企業会計の決算認定に賛成します。

令和2年度決算に対し討論

賛成



賛成討論
(国民健康保険特別会計、後期高齢者医療特別会計決算を除く)
石渡悦子 議員

町民を思いやる対応を

コロナ禍における住民生活の安心・安全を守る取り組みや、国交付の特別定額給付金事業の迅速な体制づくり、対応は評価されます。また、町独自の食費支援給付金、特別定額給付金支給基準日以降の出生児に対する応援給付。ひとり親家庭・子育て世帯に特化した施策等の先進的な支援策や、多古中央病院施設内に開設された病児保育施設等々、移住・定住促進の一助となるものと確信いたします。

町税、国民健康保険税に共通する問題では、現年課税分の徴収率は微増ですが、町税は1億6632万円余。国保税は1億5807万円余。合わせて3億2439万円余が納め

られていない状況下にあります。「納税の義務」を果たすべく努力している住民の姿を受けとめ、「納税緩和措置制度」の活用や、地方創生臨時交付金活用が可能となったコロナ特例減免の積極的運用によって住民の暮らしを思いやる対応、周知を求めます。

一般会計、各5特別会計を合わせた実質収支、いわゆる黒字は約8億3616万円余。加えて、令和2年度一般会計不用額は12億1265万円余となり、今後の様々な施策等々に資することが可能な財政状況であると認識しています。